国立山口徳地青少年自然の家　教育事業

第二回徳地アドベンチャー教育プログラム（TAP）研修会

令和４年８月１日（月）～２日（火）

【目　的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下，ＴＡＰ）の体験を通して，その教育効果を体感するとともに理念や手法を理解する。また，集団の力を借りながらコミュニケーションの楽しさや手段を学んでいくことで、人間関係の育み方を知る。

【参加者】６名（男３名　女３名）

【プログラムの内容】

１日目

１０：００　開講式、オリエンテーション
１０：３０　セッション①「アイスブレイク等」
１３：００　セッション②「イニシアチブ・ローエレメント等」
１８：３０　セッション③「Being」

２日目

９：００　セッション④「ハイエレメント」
１３：００　セッション⑤「理論・Being・ふりかえり」
１４：５０　閉講式

セッション①

最初は緊張の面持ちで参加していたが、６人という少人数であったこともあり、アットホームな雰囲気でなごやかにスタートしました。

セッション②

午後からは、課題解決的な活動をメインに体験した。少し危険と感じる活動の中で、自分がどこまでチャレンジするかという気持ちを模索しながら体験した。

セッション③

夜は、１日目のふりかえりを行い、自然の家に来てからの自分の気持ちの変化やグループ内で起きていることを共有し合いながら､次の日のチャレンジに向けて個人としてどのようにチャレンジをし､グループにどうのように関わっていくかを考え、伝え合った。

セッション④

２日目はハイエレメントを体験した。３つのエレメントから各個人がチャレンジしたいものを２つ選んでチャレンジし､そのほかの参加者はビレイヤーとして、チャレンジャーの応援をした。様々な声が飛び交い、いい雰囲気だった。

セッション⑤

コミュニケーションが必要となるアクティビティを中心に体験し、最後のふりかえりを行った。

その後は、講義を受け二日間の体験を学びに変えた。

【参加者の声】

・何度も参加することで毎回新たな学びがあるなと思いました。
・施設に来た子供たちに、気づきや発見を与え、学校では学べないことを学び感じ取るのが社会教育なのかと思いました。
・子供たちとの接し方について、もっと勉強したいと思いました。
・参加者の何をみてファシリテートしているのか知りたいと思った。

【成果と課題】

この第二回のTAP研修会は夏休み期間の教員向けに平日開催で企画をしてみたが、結果は教員の参加がなかったことが今後の課題であると考える。　そのためには、先生方が参加しやすい日程や時間、内容等今後も検討していく必要がある。

より多くの方に利用していただくために、これまでとは違う層の方に参加していただけたことは成果としてあげられると考える。また、少人数であったことから、運営側とのコミュニケーションがしっかりと取れ、参加者の欲しているものにコミットした事業運営ができたと考える。